



タイトル「**2024年度危機管理学部(公開用)**」、フォルダ「**危機管理学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT1305S		
科目名	セキュリティ		
担当教員	中林 啓修		
対象学年	1年,2年,3年,4年	開講学期	後期
曜日・時限	木 1		
講義室	1310	単位区分	選必
授業形態	講義	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門基幹		
科目小分類	専門基幹		
科目の位置付け (開発能力)	<p>■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 〔DP1-E〕 学識・専門技能 専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。 〔DP4-I〕 理解力・分析力 文章表現, 数値データを適切に扱いつつ, 情報の収集と取捨選択, 分析と加工を有効かつ円滑に行い, 課題の解決につなげることができる。</p> <p>■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック (C R) との関連 C1倫理的思考・社会認識 - 10% E1学識と専門技能 - 50% G1状況把握 - 10% I1理解・分析と読解 - 30%</p>		
教員の実務経験	2006年4月から2009年8月にかけて独立型シンクタンクの職員として原子力施設のセキュリティ対策に関わった他、2013年2月から16年3月にかけて、沖縄県知事公室地域安全政策課主任研究員として自然災害を含むを含む広範な危機事象についての調査分析や参与観察に従事した(2-8,10-14回)。		
成績ターゲット区分	■成績ターゲット 能力開発の目標ステージとの対応 3 発展期 ~ 4 定着期		
科目概要・キーワード	<p>国民の生命、身体、財産を守る「安全」には、自然現象を含む様々な不可抗力や過失などの意図せざる人為的要因による被害の低減や未然防止を行う「セーフティ」と、テロや犯罪など悪意を持った人間による殺傷、破壊、妨害などにより生じる危害から守る「セキュリティ」がある。技術の進展に伴ってリスクと脆弱性が高まり、近年、テロや社会に不満を訴える犯罪が多発する中でセキュリティの重要性は高まってきている。本講義では、セキュリティとセーフティの違いや、セキュリティ活動の現状を説明し、その課題を考察することができるようになることで、セキュリティに関する総合的な理解を深めることを目標とする。授業形態は講義形式により行うが、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れる場合がある。</p> <p>■キーワード：セキュリティ、セーフティ、セキュリティ文化</p>		
授業の趣旨	<p>■副題 「セキュリティ」を中心とした多義的な安全あり方を、様々な事例などを通じて学んでいく。</p> <p>■授業の目的 本講義では、セキュリティとセーフティの違いを理解し、セキュリティ活動の現状を概観するとともに、その課題を考察することで、セキュリティに関する総合的な理解を深めることを</p>		

	<p>目標とする。このため、「セーフティ」と「セキュリティ」との概念上の差異や、セキュリティを脅かす脅威の種類と特性、セキュリティの取組について基礎的な知識を習得し、そうした基礎的知識に基づいて社会の様々な分野におけるセキュリティ上の課題を分析・抽出して、今後のセキュリティの在り方を考察する能力を身につけることを目的としている。</p> <p>■授業のポイント</p> <p>セキュリティは、悪意を持った者が安全確保のための取組の裏をかくて危害を発生させることをどう防ぐかという取組であり、それは決められた手順やルールを着実に守ることにより安全の確保を目指すことのできるセーフティと重なる部分とまったく異なる部分がある。そうしたセキュリティの特性を踏まえながら、さまざまな分野におけるセキュリティの取組の現状と課題について学ぶことにより、効果的なセキュリティはどうあるべきかを考えていく。</p>										
総合到達目標	「セキュリティ」の概念やセキュリティ上の脅威の特性などについて理解し、社会の様々な分野におけるセキュリティ上の課題を分析・抽出して、今後のセキュリティの在り方を具体的に考察することができるようになる。										
成績評価方法	<p>■小テスト：14回（70%） 第2回以降、毎回授業時間内に小テストを行います。 小テスト後、当日の内容復習として簡単な解説を行います。 <適用ルーブリック> E1学識と専門技能 I1理解・分析と読解</p> <p>■レポート：2回（予定）（30%） 第4回の授業後および第14回の授業後に2000字程度のレポートを課します。第5回冒頭および第15回冒頭で良好だった内容や留意すべき内容などを解説します。 <適用ルーブリック> C1倫理的思考・社会認識 E1学識と専門技能 G1状況把握 I1理解・分析と読解</p> <p>■(適用ルーブリック-割合) E1（35%）、C1（15%）、I1（35%）、G1（15%）</p>										
履修条件	特になし。										
履修上の注意点	授業中は、私語など他の学生の学修の妨げになる行為をしないこと。そうした行為があった場合には注意し、改善しない場合は退席を促すことがあります。										
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td> <p>①授業テーマ ガイダンス</p> <p>②授業概要 講義で扱う基礎概念の説明や授業構成、成績の考え方など授業のガイダンスを行う。</p> <p>③予習（120分）シラバスの全体をよく読んで、授業の全体の構成について十分に把握しておく。</p> <p>④復習（120分）講義資料を確認し、さらに知りたいことなどを自習する。疑義がある場合は、リアクションペーパーなどを通じて質問する。</p> </td> </tr> <tr> <td>2</td> <td> <p>①授業テーマ セキュリティとは何か</p> <p>②授業概要 担当者の実務経験を踏まえて具体的な事例を取り上げる。セーフティなど関連概念との対比を通じて、セキュリティが悪意を持った人間による殺傷、破壊、妨害などによる危害を防止する取組であることを説明できるようになる</p> <p>③予習（120分）セーフティとセキュリティの意味の違いについて、関連の文献を検索するなどして調べておく。</p> <p>④復習（120分）講義資料を確認し、さらに知りたいことなどを自習する。疑義がある場合は、リアクションペーパーなどを通じて質問する。</p> </td> </tr> <tr> <td>3</td> <td> <p>①授業テーマ セキュリティ上の脅威と課題</p> <p>②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえ、テロリズムや自己過激化などを中心に現代のセキュリティ上の脅威と課題について概観する。</p> <p>③予習（120分）テロや自己過激化について調べておく。</p> <p>④復習（120分）講義資料を確認し、さらに知りたいことなどを自習する。疑義がある場合は、リアクションペーパーなどを通じて質問する。</p> </td> </tr> <tr> <td>4</td> <td> <p>①授業テーマ 現代のセキュリティ対策</p> <p>②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえ、セキュリティの取組において活用されている様々なテクノロジーについて、活用場所、用途、機能、運用方法などを示す。受講生は、これらを具体的に考察し、効果的な活用を検討できるようになるため、ハード対策</p> </td> </tr> </tbody> </table>	回	内容	1	<p>①授業テーマ ガイダンス</p> <p>②授業概要 講義で扱う基礎概念の説明や授業構成、成績の考え方など授業のガイダンスを行う。</p> <p>③予習（120分）シラバスの全体をよく読んで、授業の全体の構成について十分に把握しておく。</p> <p>④復習（120分）講義資料を確認し、さらに知りたいことなどを自習する。疑義がある場合は、リアクションペーパーなどを通じて質問する。</p>	2	<p>①授業テーマ セキュリティとは何か</p> <p>②授業概要 担当者の実務経験を踏まえて具体的な事例を取り上げる。セーフティなど関連概念との対比を通じて、セキュリティが悪意を持った人間による殺傷、破壊、妨害などによる危害を防止する取組であることを説明できるようになる</p> <p>③予習（120分）セーフティとセキュリティの意味の違いについて、関連の文献を検索するなどして調べておく。</p> <p>④復習（120分）講義資料を確認し、さらに知りたいことなどを自習する。疑義がある場合は、リアクションペーパーなどを通じて質問する。</p>	3	<p>①授業テーマ セキュリティ上の脅威と課題</p> <p>②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえ、テロリズムや自己過激化などを中心に現代のセキュリティ上の脅威と課題について概観する。</p> <p>③予習（120分）テロや自己過激化について調べておく。</p> <p>④復習（120分）講義資料を確認し、さらに知りたいことなどを自習する。疑義がある場合は、リアクションペーパーなどを通じて質問する。</p>	4	<p>①授業テーマ 現代のセキュリティ対策</p> <p>②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえ、セキュリティの取組において活用されている様々なテクノロジーについて、活用場所、用途、機能、運用方法などを示す。受講生は、これらを具体的に考察し、効果的な活用を検討できるようになるため、ハード対策</p>
回	内容										
1	<p>①授業テーマ ガイダンス</p> <p>②授業概要 講義で扱う基礎概念の説明や授業構成、成績の考え方など授業のガイダンスを行う。</p> <p>③予習（120分）シラバスの全体をよく読んで、授業の全体の構成について十分に把握しておく。</p> <p>④復習（120分）講義資料を確認し、さらに知りたいことなどを自習する。疑義がある場合は、リアクションペーパーなどを通じて質問する。</p>										
2	<p>①授業テーマ セキュリティとは何か</p> <p>②授業概要 担当者の実務経験を踏まえて具体的な事例を取り上げる。セーフティなど関連概念との対比を通じて、セキュリティが悪意を持った人間による殺傷、破壊、妨害などによる危害を防止する取組であることを説明できるようになる</p> <p>③予習（120分）セーフティとセキュリティの意味の違いについて、関連の文献を検索するなどして調べておく。</p> <p>④復習（120分）講義資料を確認し、さらに知りたいことなどを自習する。疑義がある場合は、リアクションペーパーなどを通じて質問する。</p>										
3	<p>①授業テーマ セキュリティ上の脅威と課題</p> <p>②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえ、テロリズムや自己過激化などを中心に現代のセキュリティ上の脅威と課題について概観する。</p> <p>③予習（120分）テロや自己過激化について調べておく。</p> <p>④復習（120分）講義資料を確認し、さらに知りたいことなどを自習する。疑義がある場合は、リアクションペーパーなどを通じて質問する。</p>										
4	<p>①授業テーマ 現代のセキュリティ対策</p> <p>②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえ、セキュリティの取組において活用されている様々なテクノロジーについて、活用場所、用途、機能、運用方法などを示す。受講生は、これらを具体的に考察し、効果的な活用を検討できるようになるため、ハード対策</p>										

	<p>だけでなく、ソフト対策の重要性についても理解できるようになる。</p> <p>③予習（120分）セキュリティに活用されているテクノロジーにはどのようなものがあるか、またその課題とは何かについて調べておく。</p> <p>④復習（120分）講義資料を確認し、さらに知りたいことなどを自習する。疑義がある場合は、リアクションペーパーなどを通じて質問する。</p>
5	<p>①授業テーマ 公共交通機関における取組(1)</p> <p>②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえ、航空、鉄道など公共交通機関におけるセキュリティの取組について、国内外の具体的な事例を取り上げる。受講生はこれらの目的、取組の現状など概要を説明できるようになる。</p> <p>③予習（120分） 空港や航空機に関するセキュリティ対策について調べておく。</p> <p>④復習（120分） 講義資料を確認し、さらに知りたいことなどを自習する。疑義がある場合は、リアクションペーパーなどを通じて質問する。</p>
6	<p>①授業テーマ 公共交通機関における取組（2）</p> <p>②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえ、航空、鉄道など公共交通機関におけるセキュリティの取組について、国内外の具体的な事例を取り上げる。受講生はこれらの目的、取組の現状など概要を説明できるようになる。</p> <p>③予習（120分） 鉄道や鉄道施設に関するセキュリティ対策について調べておく。</p> <p>④復習（120分） 講義資料を確認し、さらに知りたいことなどを自習する。疑義がある場合は、リアクションペーパーなどを通じて質問する。</p>
7	<p>①授業テーマ 核セキュリティ(1)</p> <p>②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえ、テロリストなどによる核物質や放射性物質の悪用を防止するための核セキュリティの取組について概観していく。受講生はその背景や国際的な取組の概要を説明できるようになる。</p> <p>③予習（120分） 原子力白書などを参考に、核セキュリティの概要と重要性を把握しておく。</p> <p>④復習（120分） 講義資料を確認し、さらに知りたいことなどを自習する。疑義がある場合は、リアクションペーパーなどを通じて質問する。</p>
8	<p>①授業テーマ 核セキュリティ(2)</p> <p>②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえ、日本国内における核セキュリティの取組の現状を概観していく。受講生は内容を理解することで、日本の核セキュリティの課題について考察することができるようになる。</p> <p>③予習（120分） 前回授業の復習をしておく。授業中に紹介した文献を参考に、核セキュリティに関する理解を深める。</p> <p>④復習（120分） 講義資料を確認し、さらに知りたいことなどを自習する。疑義がある場合は、リアクションペーパーなどを通じて質問する。</p>
9	<p>①授業テーマ 情報セキュリティ</p> <p>②授業概要 インターネットやコンピュータの利用の一般化に伴って増加しつつある、不正アクセス、情報流出、サイバー攻撃などを防止し、または被害を局限化するための情報セキュリティの取組について、概要を説明することができるようになる。</p> <p>③予習（120分） 最近のインターネットをめぐる事件、企業などからの情報漏出事件などについて内容を調べておく。</p> <p>④復習（120分） 講義資料を確認し、さらに知りたいことなどを自習する。疑義がある場合は、リアクションペーパーなどを通じて質問する。</p>
10	<p>①授業テーマ 大規模集客施設等における取組</p> <p>②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえ、スポーツ競技場、劇場、ホテルなど大規模集客施設におけるセキュリティの取組の現状を概観していく。受講生は、その内容を理解するとともに課題について考察することができるようになる。</p> <p>③予習（120分） 大規模スポーツ施設やテーマパークでは入場時にどのようなセキュリティ対策が行われているかを、それぞれのサイトやネット記事などで調べておく。</p> <p>④復習（120分） 講義資料を確認し、さらに知りたいことなどを自習する。疑義がある場合は、リアクションペーパーなどを通じて質問する。</p>
11	<p>①授業テーマ 大規模イベントにおけるテロ対策</p> <p>②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえ、オリンピック・パラリンピックや主要国首脳会議などの大規模イベントにおけるテロの脅威と対策の在り方、多機関連携の重要性、取り組むべき課題について概観していく。受講生はこれらの内容を説明できるようになる。</p> <p>③予習（120分） 東京オリンピック・パラリンピックの開催に伴ってどのようなセキュリティの取組があったのか、ニュース記事などで調べておく。</p> <p>④復習（120分） 講義資料を確認し、さらに知りたいことなどを自習する。疑義がある場合は、リアクションペーパーなどを通じて質問する。</p>

	<p>12 ①授業テーマ 多様な主体によるセキュリティ対策 ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえつつ、ここまでの講義の復習を兼ねて、公的機関や公共機関など多様な主体が現在のセキュリティ対策においてになっている役割を示す。受講生は、現在のセキュリティ対策が多様な主体によって担われていることを理解し、説明できるようになる。 ③予習（120分）美祢社会復帰促進センターのHPを閲覧し、刑務所の運営に民間警備会社がどのように関与しているのか、官民の役割分担などについて調べておく。 ④復習（120分）講義資料を確認し、さらに知りたいことなどを自習する。疑義がある場合は、リアクションペーパーなどを通じて質問する。</p> <p>13 ①授業テーマ セキュリティの周辺領域 ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、被害抑制や犠牲者への補償など、セキュリティに関連する周辺領域について論じていく。受講生はこれらの内容を理解することで、現在のセキュリティ対策の深さを理解し、説明できるようになる。 ③予習（120分）テロやセキュリティ上の危機が発生し、被害が生じた後の対応について調べておく。 ④復習（120分）講義資料を確認し、さらに知りたいことなどを自習する。疑義がある場合は、リアクションペーパーなどを通じて質問する。</p> <p>14 ①授業テーマ セキュリティ文化 ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、セキュリティの取組において重要な「セキュリティ文化」について説明する。受講生はこれらの内容を理解することで、現在のセキュリティ対策の深さを理解し、説明できるようになる。 ③予習（120分）電力中央研究所報告書「我が国の核セキュリティ文化醸成に関する考察」（https://criepi.denken.or.jp/hokokusho/pb/reportDetail?reportNoUkCode=Y13002）の報告書をよく読んで、核セキュリティ文化とはなにかを把握しておく。 ④復習（120分）講義資料を確認し、さらに知りたいことなどを自習する。疑義がある場合は、リアクションペーパーなどを通じて質問する。</p> <p>15 ① まとめ ② 講義内容全体を振り返りまとめとして重要事項を再確認する。</p>
関連科目	RMGT1302Sリスクマネジメント、RMGT1304Sインテリジェンス、RMGT2306Sロジスティクス、RMGT2307Sヒューマンエラーと関連している。
教科書	毎回授業資料を配布する。
参考書・参考URL	毎回の授業資料で示す。
連絡先・オフィスアワー	■連絡先：開講時に告知する ■オフィスアワー：開講時に告知する
研究比率	■危機管理領域との対応 災害マネジメント10%；パブリックセキュリティ50%；グローバルセキュリティ30%；情報セキュリティ10% ■危機管理と法学とのバランス 危機管理学70%；法学30%

